

総合土砂管理



■総合土砂管理の概要

黒部川によって上流から運ばれてきた土砂は、下流で扇状地を形成してきましたが、その一方で数々の土砂災害を引き起こしています。また、下流では河川の河床低下や海岸の侵食などが起こっており、より自然な形で土砂を流下させることが必要です。

これからは、黒部川水系全体でバランスのとれた総合的な土砂の管理が欠かせないものとなっています。そのため、砂防、ダム、河川、海岸の一貫した土砂管理を実施し、適正な量・質の土砂を下流領域に供給するとともに、ダム機能の維持や河川の河床低下、海岸侵食の防止とあわせ、河川環境の保全を図るべく総合土砂管理を推進します。



自然環境への取り組み



■やすらぎ水路

黒部川に合流する用水路や小河川に石積みや流れの緩やかな箇所（ワンド）を整備し、洪水時に魚類の避難場所とすることにより、魚類の住みやすい環境づくりを図っています。



福島やすらぎ水路

■魚にやさしい川づくり検討委員会

魚にやさしい川づくり検討委員会と協働し、魚類の生息・生育状況、河川の維持管理(魚の生息環境改善)に関する情報交換および意見交換を実施しています。



やすらぎ水路の利用状況(出島)



魚にやさしい川づくり検討会